

大阪北区「扇町創造村構想」と印刷業界

関西経済発展のカギに創造的活動を

印刷業を巻き込む「扇町創造村構想」が始動

物造りから第4次・第5次産業への転換は図る

関西財界のシンクタンク・関西社会経済研究所が、扇町を中心とした大阪北区を創造的な街として新たな活力付加を試みる「扇町創造村構想」を打ち出した。

JR 環状線の大阪駅周辺から、東を天満橋筋、西を梅田から中津を結ぶ線、南を大川・堂島川、北を中津から天神橋6丁目にいたる線で囲まれたほぼ四角形に近い地域が対象として選ばれている。

このエリアには多くの印刷関係企業が存在する。大阪府印刷工業協同組合の北支部が含まれるが、大印工傘下19支部の中でも組合員数としてはトップの82社が点在する。ジャグラー関係でも12社、DTP・製版企業で14社、それに資材を提供する側のベンダーを含めれば確かに数は多く、中でも有力企業が含まれているのも事実だ。

今年50周年を迎える大印工の歴史を振り返っても、この地域に該当する北支部が果たして来た役割は大きく、地場産業としての印刷が地域産業と文化の下支えを行ってきた実績が評価され、「扇町芸術村構想」実現の要として印刷業界に期待が掛けられるのも理解できる。

もともとデザインや印刷など創造的な仕事に関わる業種が集積しているこの地域全体の環境を、孵化器（インキュベーター）として見立て、地域内の企業を育成・活性化させることで新たなエネルギーを創出、次世代産業誕生につなげていく動機付けとする考えがこのほど大阪市立大学の塩沢由典教授によって提言された。

「扇町創造村構想」の中では、「関西経済を発展させるためには、創造的活動をカギに、産業構造を娯楽や観光、芸術などの第4次、第5次産業に転換していく必要がある」と指摘されている。「大企業为先導で巨大施設を展開するのではなく、SOHOのような独立個人企業を中心となる第4次、第5次産業の到来を見越したモデル地域を立ち上げることが必要だ」という。

塩沢教授はさらに、「大阪市北区は、もともと芸術関連産業が集積している。大阪市全体との比較では、人口では3・7%しかないが、拠点数で見るとグラフィックデザインは24%、画廊は35%、広告代理店は40%が集まっている。美術学校やコンピュータの専門学校なども多く、芸術家予備軍の若者も多く集まってきている」と分析する。

その上で「これまでの関西経済は輸出を強みとする製造業に依存していた部分が大きい

が、今後は内需中心のレジャーやコンテンツの関連産業を育て、産業構造の転換を促していくことが求められてもいる」とも指摘する。

塩沢教授が指摘するとおり、JR 大阪駅周辺から四方に伸びるこの地域は、21 世紀の大阪を反映する文化都市への変貌を予感させる整備計画がすでに着手されている。テレビ局や新聞社、映像ソフト会社、大阪市立大学を始め宝塚造形芸術大学、ベンチャー企業の育成施設である「メビック扇町」など、主力企業や団体が集まっている。

構想提言者の塩沢教授が不二印刷に協力要請

この構想が具体的にまとめられたの今年の夏。塩沢教授が指導する大阪市立大学大学院創造都市研究科はそれまでに、各大学や経済団体などとの研究シンポジウムを開催して下調べから、基礎作りへと発展させてきている。例えば、昨年6月には、宝塚造形大学サテライト大学院経営研究科と「芸術都市キタを考える・いまキタはアート都市になれるのか」をテーマに連続シンポジウムの第1回をスタートさせた。その以前には、大阪青年会議所と「大阪経済活性化討論会」を開催して「新商都創造」のための新たなリーディング産業の発掘や、ベンチャー企業育成の方策を考え出す体制作りをスタートさせている。

こうした構想を取りまとめた塩沢教授は、このほど印刷業界との連携を必要として、同エリア内で業績を残す不二印刷の井戸幹雄社長を訪ね、「扇町創造村構想」への理解を求めると共に、印刷企業の立場から積極的な協力を要請した。

昨年12月16日、北区南森町の不二印刷を訪れた大阪市大の塩沢由典教授と小長谷一之助教授は、井戸幹雄社長の案内でカタログ印刷物のプリプレス工程を見学。カメラ撮影から、企画・編集、デザインを含む総合的なプロデュース産業としての印刷に深い関心を示すと同時に、扇町創造村構想を支える重要ファクター業種になる手ごたえを確認した。

その後、不二印刷会議室で約1時間にわたり、塩沢教授が構想の概略を説明すると共に、構想実現のために協力を求めた。

この日の話し合いでは、塩沢教授の構想を聞く側に終始する形となった井戸社長は「地場産業としての印刷の立場からすれば、地域活性化への協力を惜しむ理由は何一つとしてない。ただ、印刷は細かい作業を集約化していくもので、企業形態は千差万別、一概にこれが印刷企業と言うパターン化はできない。従って、単一の計画で各企業を巻き込む動きにはならないだろ。しかし、創造村の構想には賛意を示したいし、不二印刷としては受け入れていきたい」と、今後への協力を約束した。

